2026年度 福岡工業大学 総合研究機構 研究支援制度【概要】

摘要＼制度名	研究スタートアップ支援 （ライフイベント等復帰支援） Research Start-up Support	若手卓越研究支援 Outstanding Early-Career Researcher Support	研究高度化支援 Research Advancement Support	科研費リトライ支援 Grants-in-Aid for Scientific Research(KAKENHI) Re-application Support	学術図書出版補助支援 Academic Book Publication Subsidy	学術論文作成支援 Academic Paper Writing Support	研究計画書作成支援 Research Proposal Preparation Support	国際学術誌論文投稿支援 International Journal Submission Support	学会発表旅費支援 Conference Presentation Travel Support
研究期間	1年間	2年間	2年間	1年間	－	－	－	－	－
制度の目的	大学・短期大学部に新たに着任した教員およびライフイベント等による休職から復帰した教員が、円滑に研究を立ち上げ、外部資金獲得へつなげることを目的とする。	本学の将来を担う若手研究者による卓越した研究活動を支援し、大型外部資金の獲得につながる研究テーマの創出を促すことを目的とする。支援は2年間にわたり実施し、支援終了後の年度に外部資金申請等の協力をお願いする。	分野横断型の卓越した研究プロジェクトを2年に亘って支援し、本学研究力の高度化を推進し、大型競争的研究費の獲得による学園のプレゼンスアップを目的とする。	前年度科研費において一定水準の評価を受けた教員を対象に、翌年度の科研費再挑戦を重点的に支援することで、研究の継続的発展および本学の科研費採択率向上に寄与することを目的とする。	本学教員の研究成果を社会に広く還元するため、単著または共著による学術図書の出版に必要な経費を補助するものである。共著については、申請者自身の研究成果が明確に示された部分（寄稿部分）を対象とする。	本学教員の学術論文数の増加を目的に、論文校正費用の全額または一部を支援する。	教員の自発的な外部研究資金獲得のために、「研究計画書」の作成を支援する。	本学教員が投稿費用の負担を気にせず、影響力の高い高品質な国際学術誌に投稿できる環境を促進する。	本学の学部生および大学院生が、国内外の学会・研究会等において研究成果を発表する機会を支援し、研究活動の活性化および研究者育成に資することを目的として、旅費の一部を補助する。
対象者	(1)新任教員（2026年4月1日時点で、採用後3年以内の専任教員および特任教員） (2)ライフイベント等復帰教員（2026年4月1日時点で、妊娠・出産・育児・介護等により6か月以上の休職後に復帰して3年以内の専任教員および特任教員 ※必要に応じて、医療上の理由等、これに準ずるケースを個別に審査する場合がある。	(1)個人研究：大学・短期大学部に在籍する45歳以下の専任教員・特任教員 (2)グループ研究：全員が本学に在籍する45歳以下の専任教員・特任教員。グループの代表者は、「採択後の年度に外部資金申請を行う責任者」となる ※年齢は2026年4月1日時点	全員が本学に在籍する専任教員・特任教員で構成される研究グループ	大学、短期大学部に在籍する専任教員、特任教員	大学・短期大学部に在籍する専任教員	(1)当該論文の第一著者が大学・短期大学部に在籍する専任教員、特任教員 (2)当該論文の第一著者が本学と雇用関係がある研究員 (3)当該論文の第一著者が大学院生で、共著者に本学の指導教員が含まれる場合、指導教員を本制度の支援対象とする	(1)大学・短期大学部に在籍する専任教員、特任教員 (2)本学と雇用関係にある研究員	大学・短期大学部に在籍する専任教員（研究員義務の不履行状態にない者）	本学に在籍する学部生および大学院生（休学中の学生を除く） ＊共著、共同発表の場合は発表者のみ対象 ＊1研究室（または1ゼミ）あたり2名（2件）上限
支援内容	研究費（上限有）	研究費（上限有）	研究費（上限有）	研究費（上限有）	出版費用（上限有）	校正費用	研究計画書等の作成に関する、学外専門機関のサポート（面談、添削等）費用	オープンアクセス化に必要な投稿費用（Web掲載料、オープンアクセス料）	研究室およびゼミ所属学生の学会発表に係る旅費・宿泊費（費用・件数上限有）
申請要件	有	有	有	有	有	－	－	有	－
学内審査	有	有	有	有	有	－	－	有	－
義務	有	有	有	有	有	有	有	有	有